

# 医学・生物学系共同利用研究報告会

電子顕微鏡は最近、電子を直接検出するカメラの実用化により、その分解能が飛躍的に向上し、生体高分子複合体などの原子モデルを決定できる手法として注目されています。また、光学顕微鏡による異なる分解能の情報を補完し、構造と機能を結びつける土台となることも期待されています。この度、大阪大学超高压電子顕微鏡センターを利用して得られた研究成果の報告会を開催いたしますので、ふるってご参加ください。

日時：平成28年3月24日（木） 13:30-16:15

場所：大阪大学 大学院生命機能研究科 ナノバイオ棟3Fセミナー室

## プログラム

- 13:30-14:00 低温電子顕微鏡による単粒子解析の実際  
光岡 薫（阪大超高压電子顕微鏡センター）
- 14:00-14:30 繊毛内輸送システムの制御と繊毛関連疾患の発症メカニズム  
大森 義裕、茶屋 太郎、古川 貴久（阪大蛋白質研究所）
- 14:30-15:00 先端電子顕微鏡により細胞分裂過程を細胞丸ごとレベルで可視化する  
岩根 敦子（阪大生命機能研究科、理研生命システム研究センター）
- 15:00-15:15 休憩
- 15:15-15:45 走査透過電子顕微鏡による生物試料観察  
栗原 隆亮（阪大超高压電子顕微鏡センター）
- 15:45-16:15 超高压電子顕微鏡により明らかになった骨芽細胞でのコラーゲン産生  
上岡 寛（岡山大）